

久里浜駐屯地の伝統と歴史に感動



基地周辺の模型をみて
当時を偲ぶ



資料館でも真剣に
聞き入る参加者

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 平原 1 陸尉）は、10 月 21 日（火）、宅建協会川崎中支部女性部会の久里浜駐屯地見学を支援した。この見学は「自衛隊の活動現況を理解し、協力支援態勢を確立する」という趣旨で、ここ数年継続して行っており、今年は「久里浜駐屯地を見学したい」という要望に応えて行われたものである。

当日は、あいにくの雨模様であったが、熱心に記念碑や資料館等を見学し、海軍通信学校の創立や警察予備隊発足当時の説明を受けると、その伝統と歴史の深さに感嘆の声を上げていた。

市ヶ尾募集案内所は、「今後も、自衛隊協力団体の行事を支援し、防衛省・自衛隊の活動について理解を促進して、募集・防衛基盤の拡充を図っていききたい」としている。



雨の中、熱心に説明に
聞き入る参加者

みなと工業会（横浜市）で防衛講話



講話中の高田本部長

神奈川地方協力本部（本部長・高田充一 海佐）は、10 月 21 日（火）、みなと工業会（横浜市）44 名に対し、防衛講話を行なった。

講話では、潜水艦の性能や特性及び運用等、基礎的な事項を説明するとともに、潜水艦部隊の活動について本部長自身の経験も併せて紹介した。参加者からの「潜水艦の浮上航行と潜航航行の違いは?」「危険な状況に陥った経験は?」等の質問に、分かり易く丁寧に答えた。

神奈川地本は、「今後も、県内企業等に対し積極的に講話を行い、自衛隊の任務、行動等について理解を深めて頂き、協力態勢を強化していききたい」としている。

昔話に花が咲く



74 式戦車前で記念撮影



駐屯地資料館でビデオ鑑賞

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 平原 1 陸尉）は、10 月 22 日（水）、神奈川県隊友会横浜北支部の練馬駐屯地見学を支援した。この見学は、「自衛隊の現状を理解して、自衛隊に対する協力支援態勢の強化を図る」という趣旨で毎年行われており、今年は、「練馬駐屯地資料館の見学と第 1 師団の災害派遣の現状等について理解を深めたい」という要望に応えて行われたものである。

当日は、資料館前に展示してある 74 式戦車の前で記念撮影を行った後、第 1 師団の災害派遣等のビデオ鑑賞や資料館を見学したが、展示品の充実ぶりに感心していた。退職して数十年を数える参加者は、昔話に花を咲かせ、終始和やかな雰囲気ですべてを終了した。

市ヶ尾募集案内所は、「今後も、自衛隊協力団体の行事を積極的に支援し、防衛省・自衛隊の活動について理解して頂き、募集・防衛基盤の育成を図っていききたい」としている。